

■ ■ 1 2 章 ■ ■

Web にリンク

増炭反応：

炭素-炭素結合を新たに形成することにより炭素鎖の炭素数を増やす反応。主骨格の炭素数を増やすことが容易にできれば、新しい医薬品、有機材料やその原料を安価に合成できる可能性が大幅に増大する。そのため、有機合成を行う上で、増炭反応は非常に重要な反応の1つである。

Web にリンク

アルキル側鎖：

側鎖は元々は主鎖に対する用語であるが，ここでは環構造に結合したアルキル基の炭素鎖を指す。ベンゼン環を主骨格として見なし，主鎖ではないアルキル基という意味でアルキル側鎖と呼んでいる。単に側鎖と呼ぶことが多い。

Web にリンク

五員環：

5つの原子で環を構成するものを五員環(five-membered ring)と呼ぶ。同様に、

3つの原子で環を組むと、三員環(three-membered ring),

4つの場合は四員環(four-membered ring),

6つの場合は六員環(six-membered ring),

7つの場合は七員環(seven-membered ring)

となる。五員環と六員環はひずみが小さくて安定なため、環形成が比較的容易であるとともに開環しにくい。